

(仮称)周南市長穂太陽光発電事業に係る環境影響評価方法書に対する知事意見の概要

項目	主な意見
【全体的事項】	
	<p>○環境影響評価の中で新たな事情が生じた場合は、必要に応じて評価項目及び手法の見直しを行うなど、適切に対応すること</p> <p>○準備書では、一般の縦覧に供することを踏まえた具体的で分かりやすい記載となるよう工夫すること</p> <p>○地域住民等に対し、事業の実施に伴う環境影響はもとより、地域住民等の懸念事項について、積極的な情報提供や丁寧な説明に努めるなど、真摯に対応し、相互理解の促進に努めること</p>
【個別的事項】	
騒音	○騒音発生源の配置を明確に記載した上で、適切に影響評価を行い、その結果を分かりやすく記載すること
水環境	○近年増加している局所集中的な降雨の傾向を踏まえ、適切な流出係数や降雨強度により影響評価を行うこと。事業実施前後のモニタリングや順応的管理手法の導入も検討すること
反射光	○季節変動も含めたシミュレーションを行うなど、適切に影響評価を行うこと
土地の安定性	○樹木の伐採や土地の改変を最小限に抑えた上で、切土及び盛土の状況について、準備書に具体的に記載すること
動植物生態系	<p>○ゴルフ場開発前への生態系の回復なども期待されることから、適切な影響評価と併せ、モニタリングの実施を検討すること</p> <p>○特定植物群落の竜文寺樹林、巨樹・巨木林のモミの生育状況を把握し、生育環境への影響を回避・低減すること。市天然記念物の周方神社社叢等も、その生育状況の把握に努めること</p>
景観	○緑山からの眺望景観の変化に配慮した太陽電池発電設備等の配置等を検討すること
廃棄物	○廃棄物の発生抑制とともに、適切な予測・評価及び環境保全措置の検討を行うこと